

ワイヤレス バックモニター

WTK-A003

日本語

取扱説明書

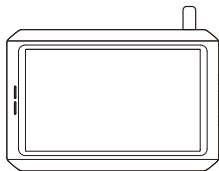
目次

付属品	2
取り付け前の準備	3
取り付け	5
バックカメラの取り付け	5
カメラ角度の調整	6
モニターの取り付け	6
基本操作	8
画面表示	8
モニターの操作	9
6パターンガイドライン表示選択	9
Cam2をペアリング	10
Cam1/Cam2の切替	10
バージョン番号の確認	10
電池残量の表示	11
ソーラーパネル(オプション)	12
ソーラーパネルの部品	12
ソーラーパネルの取り付け	12
故障かなと思ったら	15
仕様	16
メモ	17

付属品



バックカメラユニット(ソーラーパネル・アンテナ内蔵)



モニター



モニター吸盤



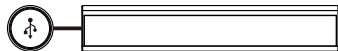
レンチ



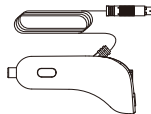
両面テープ



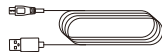
両面テープ



ソーラーパネル



シガー電源アダプター



USB充電ケーブル

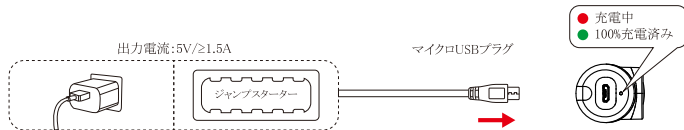
注意: USBケーブルでカメラに給電するだけでなく、専用のアクセサリ(ソーラーパネル)からも給電できます。

取り付け前の準備

カメラバッテリーへの充電

車に製品を取り付ける前に、USBポートからの充電器でバッテリーを充電します。

1. 付属のUSB充電ケーブルをUSBポートに接続します。
2. USB充電ケーブルを出力1.5A以上のUSBチャージャーに差し込みます。
3. 充電時間は約4～5時間です。



注意:

1. 車を半月以上使わない場合、バッテリー上がりを防ぐため、カメラ側の電源ボタンを3秒ぐらい長押ししてカメラをオフにしてください。
2. モバイルバッテリーまたはジャンプスターターで充電する場合、バッテリーの容量が5000mAh以上であることをご確認ください。
3. カメラのバッテリーが完全に充電されている状態で7.5時間利用可能です。充電が満タン状態の場合、約45～60日間(1日に3回、60s/回)使用可能です。長時間の作業で画面のバッテリー残量が少なくなった場合は、すぐに充電してください。(バッテリーの利用時間は使用環境により変動します。)
4. 製品が取り付けが完了した場合、充電する時にカメラを取り外す必要はありません。USBケーブルまたはジャンプスターターでカメラを充電できます。そしてもしもの場合次の手順に従って、カメラを取り外して充電することもできます。
 - ① 付属のドライバーでカメラの盗難防止ネジを緩めます。
 - ② 図のように矢印方向にスライドして、カメラを取り外します。



①

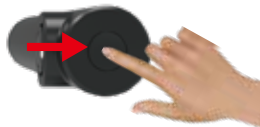


②

動作テスト

全ての付属品が正常に動作することをご確認ください。製品を取り付ける前に、各 부품のテストをおこなってください。

1. モニターの電源を入れると、モニター側にあるインジケータライトが点灯します。モニターを電源ONの状態、画面が待機状態に入っていることを示します。
2. カメラの電源ボタンを押してカメラを電源ONにすると、動作中のインジケータライトが点灯し、カメラが起動してモニターに映像が表示されます。
3. 設定後、付属のシガー電源アダプターのボタンまたはモニターにある任意のボタンを1回押すと、モニターのインジケータライトが2回点滅し、モニターに映像が再び表示されます。映像が表示できない場合は、「故障かなと思ったら」の内容をご確認ください。



注意:

デフォルト設定の場合、60秒後モニターの表示が停止し、待機モードに入ります。

取り付け

バックカメラの取り付け

- ①車からナンバープレートを取り外します。
- ②カメラのブラケットをナンバープレートに挿入します。
- ③カメラのブラケットの穴をナンバープレートの穴に合わせ、ナンバープレートのネジを差し込んで締めます。

注意: ナンバープレートがネジ式でない場合は、付属の両面テープを使用してください。両面テープの片側を剥がしてブラケットの正面に貼り付け、そして反面のテープを剥がして、ナンバープレート裏面の適正な位置を確認し、カメラのブラケットを貼り付けます。

カメラを取り付ける時に、カメラがナンバープレートのネジ穴を覆って、ナンバープレートのネジをねじ込むことができない場合は、次の手順に従ってカメラを取り付けることができます。

- 1.盗難防止ネジを緩め、指定された方向(4ページの図①を参考)にカメラをブラケットから取り外します。
- 2.カメラのブラケットをナンバープレートフレームに取り付け、ナンバープレートのネジを締めます。
- 3.カメラをブラケットに指定された方向にスライドして、再び盗難防止ネジをカメラに差し込んで締めます。

カメラはナンバープレートの下に設置することもできます(右図を参照)。取り付け手順は上記と同様です。

注意: カメラがナンバープレートの下に取り付ける場合、画像を上下に反転させないように、ニューから画像を上下の設定する必要があります。



カメラ角度の調整

適切な角度に調整します。

- カメラは上下方向に30°回転でき、必要に応じて適切な角度に調整してください。

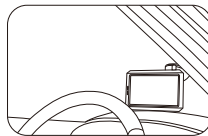
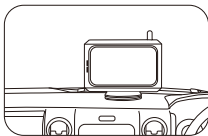
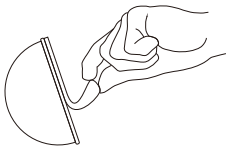
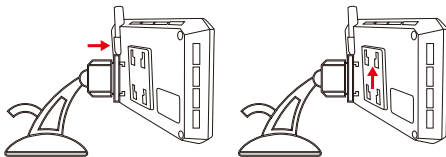


モニター取り付け

1. スタンドをモニター裏側の挿入口に差し込みます。右側の図のように挿入口の固定方向に押し込んでください。

注意:これらは参考図ですので、実際の構造を確認して取り付けを行ってください。また、無理に押し込んで生じる破損や損害について、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

2. スタンドの吸盤に貼付してある保護用の透明フィルムを剥がしてください。
3. 吸盤でフロントガラスまたはダッシュボードに貼り付けてください。

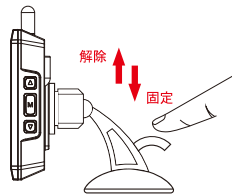


●モニターの角度調整する場合：

スタンドのノブを時計逆回転方向に回して緩めて、モニターの位置が調整します。調整できたら、ノブを時計回転方向に回して締めて、固定してください。(360° 回転可能)

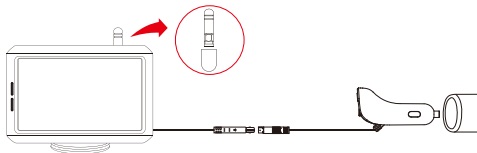
●モニタースタンドはジェル吸盤式のスタンドで、強力な吸着力があります。吸引力が低下した場合は水洗をすると再利用が可能です。

●スタンドを移動する場合は、表示されている図のようにレバーを上引くと、フロントガラスまたはダッシュボードからスタンドを外すことができます。また、下に押しすとモニターをフロントガラスまたはダッシュボードに固定することができます。



注意:モニターをフロントガラスに設置した場合、運転や視界の妨げになる位置へ設置しないでください。吸盤接着面が汚れたり、日光等で熱くなると吸盤が外れやすくなります。

下記の図のように、モニターとシガー電源アダプターの配線を接続し、シガー電源アダプターを車のシガーソケットに差し込むことで電源が供給されます。アンテナの配線とモニターを接続します。



注意:もし愛車のシガーソケットは常時電源(エンジン停止状態でも使える)の場合、車バッテリーが上がらないよう車降りる時シガー電源アダプターを抜いてください。

基本操作

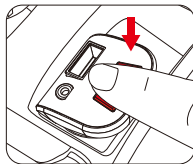
画面表示

1.カメラ側の電源ボタンを押して、カメラを電源ONにしてください。

注意:初めて使用開始する前に、カメラのバッテリーがフル充電の状態であることをご確認ください。充電についての情報は「取り付け前の準備」の「カメラバッテリーへの充電」の内容をご確認ください。

2.車のエンジンが始動すると、モニターにカメラの映像が表示されます。

注意:画面に映像が表示されない場合、付属のシガー電源アダプターのボタンまたはモニター側の任意ボタンを押して、モニターに映像が再表示します。



カメラインジケータの定義

インジケータのステータス	定義
● ● ● ● ● ●	点灯しません:カメラの電源が入っていません、またはスリープモードです。
● ● ● ● ● ●	点灯10秒後に電源OFFになります:カメラがモニターに接続されていない時にカメラを電源ONにすると、10秒間の点灯したあと自動的にスリープモードになります。
● ● ● ● ● ●	点滅:カメラがペアリングしています。
● ● ● ● ● ●	点灯:カメラとモニターは正常に接続されています。
● ● ● ● ● ●	2回点滅:カメラが電源OFF になっています。

モニターの操作

モニターの電源を入れると、インジケータライトは常に赤色に点灯します。モニターが電源ONになり、待機の状態に入ることを示します。

M:メニュー/復帰/確認

▲:フォワード/拡大

▼:バック/縮小

- Mボタンを押すことで設定メニューに入ります。操作していない場合は、3～5秒以内に自動的に設定を保存し、電源OFFになります。
- ▲と▼のボタンを使用すると、拡大と縮小を操作できます。また、下記のメニューアイテムを切り替えることもできます。

輝度:画面の明るさの調整

コントラスト:コントラストの調整

M/U コントロール:正像と鏡像の切替&画面の上下の反転

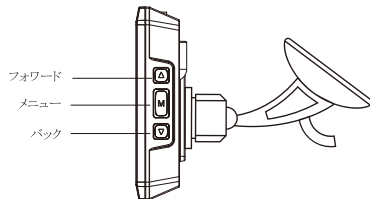
バック駐車時間:バック駐車時間の設定

ガイドライン:ガイドラインの表示/非表示

設定:ペアリング・言語・リセットの設定インターフェースに入ります。

- ①ペアリング:新しいバックカメラの登録
- ②言語:表示言語の選択
- ③リセット:設定の初期化

注意: 通常では本製品は工場出荷時、すでにバックカメラとペアリング済みの状態になります。バックカメラを交換する場合のみ、ペアリングボタンを利用する必要があります。



6)パターンのガイドライン表示選択

選択する前に、メニューでガイドラインを電源ONに設定してください。

- 1.ガイドラインが点滅状態で表示されるまでMボタンを4秒ほど長押しします。
- 2.▲ボタンと▼ボタンを押して、6つのガイドラインから1つを選択します。
- 3.約3秒後、ガイドラインは点滅を停止して、設定が保存されます。

Cam2をペアリング

2台目のカメラ「Cam2」を別途に購入する必要があり、そしてモニターとのペアリングがされていないため、下記の手順でCam2をペアリングしてください。

- 1.モニターのMボタンを押してメインメニュー画面に入ります。
- 2.▲/▼ボタンを押し、「設定」中の「ペアリング」をMボタンを押し選択します。
- 3.▲/▼ボタンを押し、「Cam2」を選択して、Mボタンを押し確認します。ペアリング開始、モニターのインジケータライトがすばやく点滅します。
- 4.Cam2カメラの電源ボタンを押し、電源ONにしてください。5秒長押しして、カメラのインジケータライトが点滅始めたら、モニターとのペアリングが開始します。
- 5.ペアリングが完了すると、モニターに「Cam2」の映像が表示されます。

注意:①30秒以内にモニターとカメラをペアリングが完了しない場合は、自動的に待機モードになります。上記の操作を繰り返してください。

②パッケージ内のカメラはCam1です。Cam1は工場出荷時にペアリングされており、通常は再度ペアリングする必要はありません。Cam2は付属されておりませんので、必要に応じて、別途購入してください。

Cam1/Cam2の切替

モニターがCam1とCam2と正しくペアリングしていて、▼ボタンを3秒間長押しすると、モニターがCam1とCam2の映像に切り替えができます。

切替できない場合:

- モニターとペアリングしているカメラが1台だけの場合、▼ボタンを3秒間長押ししても画面は切り替わりません。
- 両方のカメラが前にペアリングされていたが、当時一方のみが正しく接続されている場合、▼ボタンを押し切り替えても、現在接続されているカメラの映像に自動的に戻ります。

注意:両方のカメラを接続する場合、コントラスト、正像/鏡像切替、ガイドラインのパラメーター設定は各カメラに保存されているので各カメラの設定に影響がありません。





バージョン番号の確認

モニターの画面が正常に表示され、全てのメニューを操作していない状態で、▲ボタンを3秒間長押しすると、接続されているCam1とCam2のファームウェアバージョン情報が画面中央上部に表示されます。情報は3秒後に自動的に非表示になります。RXで始まるのはディスプレイのバージョン番号、TXで始まるのはカメラのバージョン番号、たとえばCam1はTX1: xxx、Cam2はTX2: xxxです。

電池残量の表示

電池残量の表示アイコンはモニターの右上に設置されています。

下記の図のように電池残量のアイコンにより電池の消耗状況及び太陽光にさらさない状況でカメラバッテリーの残りの使用時間を表示します。陽光のある環境でソーラーバッテリーがフル充電された場合、製品に数ヶ月給電することができます(毎日4~6回使用することを前提とします)。

バッテリーの消耗状況	およその電池残量	推定使用時間	その他
	≈ 100%	≈ 75日	---
	≈ 70%	≈ 45日	---
	≈ 40%	≈ 20日	---
	≤ 20%	≈ 10日	充電必要

注意:低温で内蔵電池の性能が低下することがあります。そのため、低温の環境で本製品を使用する場合は、内蔵電池の推定使用期間より短くなる可能性があります。

下記は100%充電時、違う温度でバッテリーの利用時間と性能の参照表です。(使用回数は1日3回の基準)

注意:バッテリーの利用時間と性能は温度と実際の使用状況によって異なります。

温度(F/°C)	140F/60°C	113F/45°C	77F/25°C	0F/0°C	14F/-10°C	-4F/-20°C	-22F/-30°C
バッテリー利用時間	≈ 75日	≈ 74日	≈ 73日	≈ 57日	≈ 50日	≈ 25日	≈ 0日
バッテリー性能(%)	100%	99%	98%	86%	77%	44%	0%

ソーラーパネル(オプション)

USBケーブルでバッテリーカメラに充電するだけでなく、当製品専用のアクセサリ(ソーラーパネル)を利用して、カメラに充電することができます。ソーラー充電式バッテリーが毎日2時間程度の十分な日光が当たると、約3ヶ月間(1日に3回、60秒/回)利用可能です。(バッテリー使用時間は温度と実際の使用状況によって異なります。)

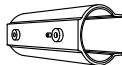
ソーラーパネルの部品



ソーラーパネル



両面テープ



ブラケット



ブラケットのネジ

ソーラーパネルの取り付け

1.カメラとソーラーパネルは別々に取り付ける場合

- ①ナンバープレートのネジを緩め(カメラを取り付け完了)、カメラの充電ポートにあるカバーを取り外します。
- ②ソーラーパネルのプラグをカメラのマイクロソケットに合わせて差し込みます。
- ③ソーラーパネルとカメラを接続する配線ケーブルは、ナンバープレートの下に隠します。
- ④両面テープの片側を剥がしソーラーパネルに貼り付けてから、反対側をナンバープレートの下に貼り付けます。
- ⑤カメラブラケットの穴をナンバープレートの穴に合わせ、ナンバープレートのネジを差し込んで締めます。



注意:

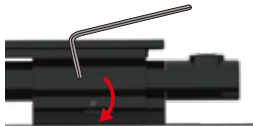
ソーラーパネルをナンバープレートの近くに設置して貼り付けることができます。
(ナンバープレート以外にも取り付け可能です)

2.カメラとソーラーパネルを一緒に取り付ける場合

- ①ブラケット専用ネジでブラケットをソーラーパネルに固定します。
(標準のドライバーを使用してネジを締めます)
- ②付属の盗難防止ドライバーを使用して、カメラの盗難防止ネジを緩めます。
- ③ソーラーパネルブラケットは、下記画像の示す方向にカメラをスライドします。



- ④カメラの充電ポートにあるカバーを取り外し、ソーラーパネルのプラグを充電用マイクロソケットに合わせて差し込みます。
- ⑤ソーラーパネルの穴をカメラの盗難防止ネジ穴に合わせ、盗難防止ネジを挿入して締めます。
- ⑥カメラブラケットをナンバープレートに挿入します。ブラケットの穴をナンバープレートの穴に合わせ、ライセンスプレートのネジを挿入して締めます。



注意:

- ①取り付け位置は必要に応じてナンバープレートの下に取り付けることができます。画像を上下逆にしないように、メニューで画面を上下に設定する必要があります。
- ②上記のすべての設置過程にソーラーパネルが物体で覆われないようにしてください。ソーラーパネルにアンテナがある為、信号の伝送に影響が生じます。



故障かなと思ったら

1. シガー電源アダプター上のボタンを押してから数秒後、モニターに映像が表示されない場合

①原因: モニターが待機状態になっています。

解決方法: モニターが電源ONになっているかをご確認ください。モニターが電源ONになっていて、インジケータライトが点灯している場合は、待機状態に入っていることを示します。

②原因: モニターとバックカメラの信号つながっていません。

解決方法: シガー電源アダプター上のボタンを押すとモニターのインジケータライトは2回点滅しますが、映像がモニターに表示されません。モニターの任意のボタンを押しても、画面が表示されない原因は、モニターとバックカメラの信号が中断されているためです。

下記の方法をお試してください。

バックカメラユニットをオンにします

バックカメラユニットが電源OFFの状態になっている可能性があります。バックカメラ側の電源ボタンを押して、バックカメラを電源ONにしてください。

バックカメラのバッテリーを充電してください

バックカメラの電力が不足している可能性があります。バックカメラを充電してください。

モニターとバックカメラをペアリングします

以下の手順でモニターとバックカメラをペアリングしてみてください。

1. モニターを電源ONにし、Mボタンを押してメニューに入ります。
2. 「設定」に入って、「ペアリング」を選択して、そしてカメラのチャンネル「Cam1・Cam2」を選択し、Mボタンを押して確定します。モニターがペアリング時は、モニターのインジケータライトが点滅します。
3. バックカメラの電源ボタンを5秒間押します。電源ボタンが点滅したら、バックカメラがモニターとペアリング中であることを表示します。
4. モニターの電源ボタンが消灯し、モニターに映像が表示されます（ペアリングは完了）。

③原因:そのほかの原因。

解決方法:モニターを取り付ける場所により、信号が弱まる場合があります。その場合はモニターを別の場所に取り付けてください。

2.車両が動いているときに映像が揺れます。

①原因:バックカメラと車両を接続しているネジが緩んでいます。

解決方法:バックカメラと車両を固定するネジの確認をし、必要に応じてネジを締めます。

仕様

モニター仕様			
モデルタイプ	5インチ液晶モニター	出力タイプ	正像/鏡像
モニター画素数	800×480×RGB	外形寸法	133×90×23.5mm
映像入力	2系統	消費電力	3.6W
使用電源	DC 12V～24V(通常12V)		

バックカメラ仕様			
イメージセンサー	1/3インチカラー(JX-H65)	画角	120° (水平)
外形寸法	178×29×26mm	最低照度	0.1Lux
ホワイトバランス	自動調整	露出補正	自動調整
防水構造	IP68	バッテリー容量	3350mAh

メモ

MAXWIN